

古事記・日本書紀に次ぐ古典『旧事紀』によると、第八代
孝元天皇五年(前二一〇)に、天手力雄命が奥社の地に鎮まら
れました。その後、康平元年(一〇五八)宝光社に、さらに
三十年を経て中社に現在の御祭神が分祀奉斎されました。また、
平安時代にはすでに天下に知られた修験の名所となっていたこ
とが『梁塵秘抄』(治承二年一一七八)に記されています。

戸隠神社 五社参拝



戸隠神社

戸隠神社 中社社務所 〒三八一・四二〇 長野市戸隠中社
電話 〇二六・二五四・二〇〇一
<http://www.togakushi-jinja.jp>

戸隠神社 五社参拝

●中社から
 「奥社」参道入口まで
 徒歩約30分・車5分
 ●奥社参道入口から「奥社」まで
 徒歩約40分(車不可)
 (随神門まで約15分 随神門から約25分)

●中社から
 「宝光社」まで
 徒歩約30分(神道かんみち)
 車5分

●宝光社から
 「火之御子社」まで
 徒歩約15分
 ●中社まで
 徒歩約30分(神道かんみち)
 車3分

御朱印は、奥社・中社・宝光社で。



QRコード読み取りで
 戸隠神社ホームページ
 にアクセスできます。

戸隠神社五社参拜

御朱印は、奥社・中社・宝光社の授与所窓口で。



中社

ちゅうしや

御祭神
天八意思兼命

あめのやころおもいかねのみこと
◆ 学業成就、試験合格、商売繁盛、開運、家内安全の守り神として尊信されています。



中社 授与所

- 中社御朱印
- 火之御子社御朱印

火之御子社御朱印は、ご参拝後、中社もしくは宝光社授与所でお受けください。



御朱印

ごしゅいん

「御朱印」は戸隠の大神さまのご神意がこもった「おしるし」です。御朱印帳とともに末永く大切に保管してください。

五社参拜記念しおり

ご参拝いただき、五社の御朱印をお受けになった方に、記念のしおりをお渡ししています。

中社・宝光社・奥社
授与品・御祈願案内

御守

おまもり

太古の昔より、神霊のお力をお分け頂き、身につけるものとして御守があります。私たちが一人ひとり、だれもが大神様のお蔭をお分け頂いていることを、この御守により日々想い起こし、お祈りください。

神札

じんさつ

お誠いし祈禱をうけた神札は、大神様の神霊が鎮まるものです。家では明るく、清浄な、南または東向きの高い場所にお祀りします。日々神への感謝の気持ちを持ってお参りしましょう。一年を区切りとしてお焚き上げし新たな神札を頂きます。

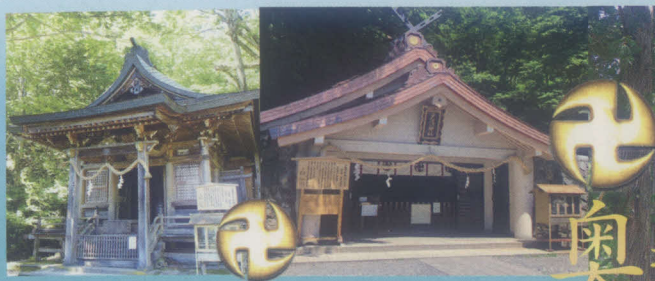


● 火之御子社芸能上達守護神札(中社授与所で頒布)

奥社参道杉並木
(長野県の史跡・天然記念物)



奥社随神門



奥社

御祭神

天手力雄命

あめのたちからおのみこと
◆戸隠神社の御本社として、開運、心願成就、五穀豊穡、スポーツ必勝などに御神徳があり尊信されています。

くすりゅうしゃ

九頭龍社

御祭神

九頭龍大神

◆生命の源、水を司る雨乞いの神、虫歯の神、縁結びの神、心願成就の依りどころとして尊信されています。



九頭龍宝珠御守

奥社授与所

- 奥社御朱印
- 九頭龍社御朱印

九頭龍社御朱印は奥社授与所で。

●奥社は天の岩戸を開けた天手力雄命の「勝守」「九頭龍宝珠御守」があります。(奥社授与所で頒布)



奥社授与所で頒布

宝光社授与所

- 宝光社御朱印
- 火之御子社御朱印



火之御子社御朱印は、ご参拝後、中社もしくは宝光社授与所でお受けください。

●宝光社は女性の心身を守り、子宝に恵まれるよう祈願された御守があります。(宝光社授与所で頒布)



おみな守



宝光社

ほうこうしゃ

天表春命

御祭神

◆開拓、学問技芸、裁縫、安産、厄除け、家内安全、女性と子供の守り神として尊信されています。



子引き龍の彫刻



夫婦杉樹齢約五百年



火之御子社

御祭神

天鈿女命

◆舞楽芸能上達、開運、縁結び、火防の守り神として尊信されています。

ひのみこしゃ

ご参拝後、中社もしくは宝光社授与所でお受けください。



●天鈿女命 (あめのうずめのみこと) より舞楽芸能上達のお力を頂く御守があります。(中社授与所で頒布)



祈願串

祈願書

それぞれの祈願内容をご記入頂き、神職が奉読、神殿に納めた後、お焚き上げ致します。

祈禱 おみくじ

古くから重要な決めごとは、神意にゆだね、神籤からその意を汲み取っていました。戸隠神社のおみくじは神々の物語にちなんだ和歌に神意が表されます。神職がお一人おひとりに籤くじを引いております。



御祈禱

御祈禱については各授与所にてお問い合わせください。